

発言する保護者ネットワーク from 大阪

— 皆さんへのお誘いリーフレット —

大阪の教育に、不安や問題点は いっぱい！
たしかに改革は必要だと思う。

・・・でも、
競争ばかりに追い立てられる教育は、心配！
学校の数が減ったら、マンモス校に逆戻り？
橋下さんに任せていて大丈夫なの？

・・・そんな不安をもつママ・パパが、
「まずは考えあおう、語りあおう」として、
発言する保護者ネットワークを立ち上げました！



発言する保護者ネットワーク from 大阪

— 子どもに寄りそう教育を求めて発言します —



【連絡先】 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-6-16 大阪京橋法律事務所 気付

電話 06-6167-5270 FAX 06-6351-3603

発言する保護者ネット 検索へ

発言する保護者ネットワーク from 大阪

わたしたちの「連帯宣言」

いま大阪で、橋下市長と大阪維新の会が、教育を変えようとしています。その「改革」は、はたして「子どものため」になるのでしょうか。

私たち保護者は、昨年、大阪府議会に提出された「教育基本条例案」の内容を知るにつけ、不安を募らせています。橋下市長や維新の会は、「教育とは2万%強制だ」「競争の結果の格差は認めるべきだ」と発言してきました。そして、この条例案は、先生・子どもたち・保護者を義務でしぼる一方で、結果については自己責任で突き放すという点で、橋下市長らの発言と矛盾なく合致しています。



いったい、私たちは、「国際競争に打ち勝つ人材」になってほしくて、子どもを学校に行かせるのでしょうか。先生や学校が序列化され、機械的に評価される殺伐とした環境の中で、子どもたちの自我はどのように育まれるのでしょうか。子どもだけでなく保護者も、根拠のない優越感や劣等感に振り回されはしないでしょうか。この条例案は、そもそも、誰の立場で、誰の利益のために作られたものなのか、そこに個々の子どもの成長を願う発想があるのか、疑念を抱かざるを得ません。

現時点で再検討に付されている、この条例案ですが、私たち自身、その内容をよく知らないまま、発言する機会もないまま、望まない方向に教育の現場が変わっていくのを見過ごすことはできません。

私たちは、子どもたちに、学校で、多くの友だちと笑いあい、学びあい、生きていく力を身につけてほしいと願っています。しかし、教育の現状は、決して良いとは言えません。いじめ、不登校、学力の低下、広がる教育格差など、解決すべき問題は山積しています。それらを解決することこそが、私たちが望む教育改革です。


私たちは、子どもの未来に責任を持ちたい。私たちには、子どもにどのような教育が準備されるのか、確かめ、共に造り、時には闘い、そして見届ける責任があるのです。選挙で選ばれた首長がめざす教育の方向性について、選挙権のない子どもたちに代わり、投票に参加した大人として、保護者として、関心を持ち続ける責任があります。

橋下流の教育改革は、大阪から、やがて全国的な広がりを見せるでしょう。そこで、私たちは、まず、ここ大阪から発言を始めます。その教育改革が、子どもにどのような影響を与えるのか、また、私たちが感じている教育についての数々の問題点を解決するために何が必要なのか、1つ1つの課題について、日々子どもの傍らにいる私たちの言葉で、検討を重ねていきたい。大人の都合や特定の利益のためではなく、子どものための教育改革を求めていきたい。

情報発信中です！
ホームページをご覧ください

発言する保護者ネット 検索 ↗

QRコードからもアクセス



私たち、「発言する保護者ネットワーク」は、子どものための教育改革を求めて発言する保護者の連帯をここに宣言します。

2012年2月8日

発言する保護者ネットワーク from 大阪

保護者ネット発！ みんなの声

—— 学校選択制ってどうなん？の巻 ——

行きたい学校を選べる、子どもにレベルの高い教育をしてもらえる…。学校選択制のメリットはいろいろ。でも、全国では制度廃止や見直しの動きも。大阪の保護者が心配してるのは、こんなことです。

学校が統廃合されるの？

橋下さん、大阪市内全体の1 / 3にあたる市立小学校（101校）を統廃合対象にするって発表してたけど、うちの子の学校大丈夫かな？ 近所の学校に通わせたいけど、そこが選ばれない学校になってしまったら、統廃合されてしまうのかな？

学校、どうやって選んだらいいの？

どの学校がいい学校か、どうやって選べばいいのかな？ 学力テストの点数の良し悪し？ 小学校段階で、特色と言われてもピンと来ないし…。結局、保護者どうしの風評で、右往左往したりして…。

P T A活動が大変になりそう

遠いところから通う子どもの保護者に、今までみたいなP T A活動ができるのかな？ ただでさえ、積極的にP T A活動に参加する人、減ってきてるのに…。

地域とのつながりはどうなるのかな

地域でもらってる「見まもり」や、学校行事への地域協力、お祭りなんか、どうなっていくのかな？ 地域で子どもを育てることと両立するのかな？

障害児や不登校の子はどうなるのかな

障害のある子は、遠いところに通いづらいと思う。ひきこもりや不登校の子は、先生や地域の人の支えが必要なのに、どうなるか心配。

もし近所に学校がなくなったら…

選択制で、児童数が減ってしまって、近所の学校が廃校になったら、やっぱり周辺地域の不動産価値って下がるのかな？ ただでさえ、子どもが少ない地域は、さらに子育てしにくい地域として人気なくなるかも。

家庭訪問はどうなるのかな

先生たちの家庭訪問は、今までのようにいかなくなりそう。子どもの生活状態を、知ってもらったり、担任の先生と保護者が連携することって、大きな校区になると難しそう。

登下校はどうなるのかな

災害のとき、子どもはどうやって下校するのか。震災もあったし、とても心配。近所の子が、遠い学校を選んでしまったら、集団登校できなくなったりしないかな。放課後、遊びに行ったりするときも、範囲が広すぎると心配。交友関係もわかりにくいかも。



どんな団体？ どんな活動？

Q & A コーナー



Q. 「発言する保護者ネットワーク from 大阪」とは、どういう会ですか？

A. 大阪発の「教育基本条例案」に疑問や危機感を感じ、「子どものため」の教育改革を求めて発言する保護者のためのネットワークです。

日頃、教育について、自分なりの意見を持っていても、個々人で発言する場合は、なかなかありません。そこで、このネットワークを通じて、意見交流し、問題意識を共有し、一保護者の立場どうし連帯して発言していくことを目指しています。

Q. 具体的にどんな活動をするのですか？

A. メーリングリストを使った意見や情報の交換、ツイッターでの意見拡散、当会公式ブログへの投稿などが、主な意見表明活動になります。

また、当会の趣旨に沿った、他団体主催のデモ、集会、学習会などについても、当会会員どうしで情報交換し、参加した感想などを交流します。当会のオフ会は定例化し、情勢の学習会なども随時開催します。

Q. 参加条件はありますか？

A. 現役の保護者であることが参加条件です。就学前から、小学生、中学生、高校生、大学生までの子どもの保護者であれば、参加していただけます。現役の保護者以外の方で、当会を応援して下さる方は、ブログへのコメントやツイッターの拡散といった形で、当会にご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

Q. 会則や会費はあるのですか？

A. 緩やかな個人のネットワークなので、とくに設けてはいません。各人の社会常識や良識を前提に、メーリングリスト上での意見交換や定例会によって運営します。

Q. 活動拠点はどこですか？

A. 当面、定例会や学習会などは大阪市を中心とした大阪府内になります。

しかし、今後、橋下流の教育改革の流れは全国に拡大していくことが予想されます。その際は、他地域の保護者とも連帯していく必要性が出てきます。したがって当会の会員は、当初から大阪に限定しません。

インターネット上の活動には、多くの地域から参加されることを期待しています。

Q. 参加するにはどうすればいいですか？

A. メーリングリストに登録申込みをされることで、入会手続きとさせていただきます。メーリングリストは当会のHPから簡単に登録できます。

申込みの際、お名前、連絡先住所、電話番号、メールアドレス、ハンドルネーム、お子さんの年齢をお知らせください。

申込み内容・プライバシー事項は公開しません。メーリングリストやブログへの投稿など、インターネット上の活動で、本名が差し支える場合、活動自体はハンドルネームで結構です。その旨、お申し出ください。

発言する保護者ネットワーク from 大阪

—— 子どもに寄りそう教育を求めて発言します ——

【連絡先】 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-6-16 大阪京橋法律事務所 気付

電話 06-6167-5270 F A X 06-6351-3603



発言する保護者ネット 検索